

山口和之さんの  
いきいき  
Interview vol.21  
好評連載中!  
企業探訪



日本はもっと  
強くなれる  
優しくなれる

山口 和之

(やまぐち・かずゆき)

参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。



齋藤 貴昭氏

郡山営業所長  
さいとう たかあき

(株)ユアテック

郡山市字道場51-6  
TEL.024-941-2840  
https://www.yurtec.co.jp/



創立80周年を記念して制作されたCM

有事の際の連絡体制整備など危機管理を強化  
4週8閉所の現場増加で休暇取得も促進

山口 東日本大震災で得た教訓を教えてください。  
齋藤 危機管理が非常に重要だということを改めて実感しました。東日本大震災では社内の体制が不十分で携帯電話もつながらず、なかなか連絡が取れませんでした。今は全従業員とすぐさま連絡が取れる体制を敷いています。2019年の台風19号で郡山営業所の1階部分が水没しました。災害はいつ発生するか分からないので常に連絡体制を整え、避難訓練等を継続していきたいと思います。  
山口 特に力を入れている商品やサービスはありますか。  
齋藤 リニューアル工事や再生可能エネルギー工事、建物付帯情報通信工事などに注力しています。新しい分野にも挑戦し、お客様に選んでいただける企業を目指しています。最近話題となっているデータセンターに関しては、東北

山口 今回は私たちの生活に欠かすことのできない電気設備や空調・給排水の工事などを手掛けるユアテックさんにお邪魔しています。まずは業務内容などについて齋藤貴昭所長にお聞きします。  
齋藤 電気工事を中心とした総合設備工事として、電力のインフラ整備工事をはじめ一般、官公庁において様々な工事を行っています。企業理念には「ユアテックはお客様のまの心ゆたかな価値の創造に

協力し、社会の発展に貢献します」を掲げています。東北6県と新潟県を中心に、建設業を通じて社会発展に貢献することを生業としています。  
山口 生活インフラを守るために心掛けていることは。  
齋藤 東北電力と東北電力ネットワークの持つ電力安定供給の使命を果たすために、有事の際の緊急対応を含めて24時間365日、いつでも対応できる体制づくりを心掛けています。



危機管理の重要性を唱える齋藤所長と山口さん

地方にデータセンター自体が少ないのですが、DXやAIの普及で今後成長していく産業なので、チャレンジすべき案件だと考えています。  
山口 人材確保や社員教育について教えてください。  
齋藤 当社も例に漏れず人手不足や採用難、離職の問題を抱えています。昨年創立80周年を迎えて新しいテレビCMを作成・配信したり、路線バスに広告を掲載するなど企業

のイメージアップを図っています。今年から定年を60歳から65歳に延長し、まだまだ働けるシニア世代の活躍に期待するところですが、新入社員研修や各階層別教育、部門ごとの専門教育を積極的にを行い、入社1~2年目の現場管理教育では、大型現場への派遣で実務経験を積ませています。  
山口 働き方改革や健康経営については進んでいますか。  
齋藤 建設業の時間外労働規制も始まり、お世話になっているゼネコンも4週8閉所などの現場が増え、以前に比べると休暇も取りやすい状況です。生活習慣病予防や健康増進への取り組みが評価され、2022年度から3年連続で「健康経営優良法人」に認定されています。  
山口 今後の夢やビジョンなどを聞かせてください。  
齋藤 家族を含めた所員の皆さんが健康で明るく過ごせるように願っています。私を含めた管理職で明るい職場、何でも相談できる職場風土を作れるようコミュニケーションを大切にしたいと思っています。  
山口 これからも危機管理を強化、働き方改革を推進し、市民の豊かな暮らしを守り、社会の発展に貢献していきたい。頑張ってください!